

経営比較分析表

宮崎県 国富町

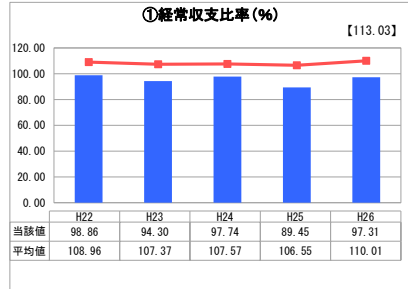
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A6
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	20.99	90.81	2,918

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,464	130.63	156.66
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
18,528	25.64	722.62

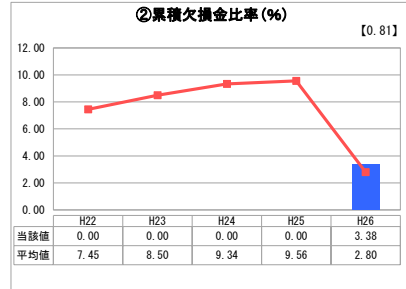
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

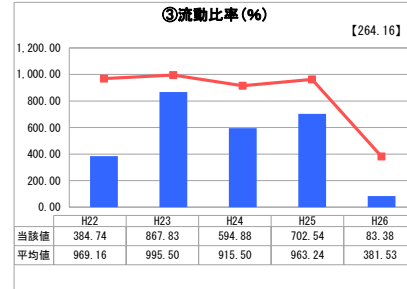
1. 経営の健全性・効率性



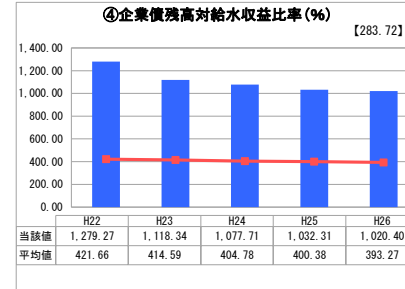
「経常損益」



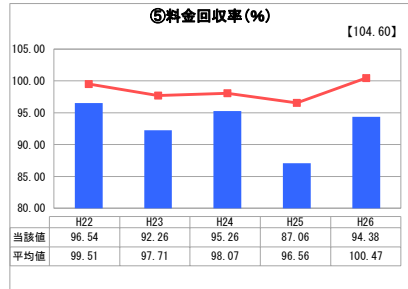
「累積欠損」



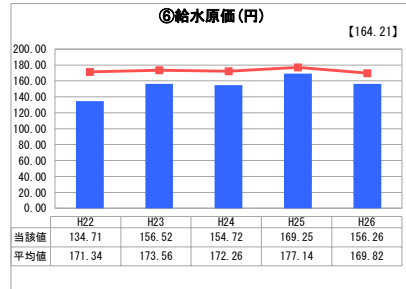
「支払能力」



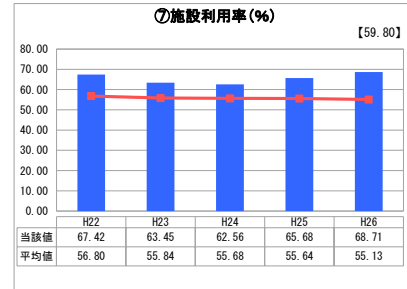
「債務残高」



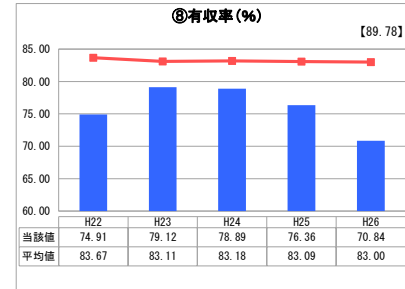
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

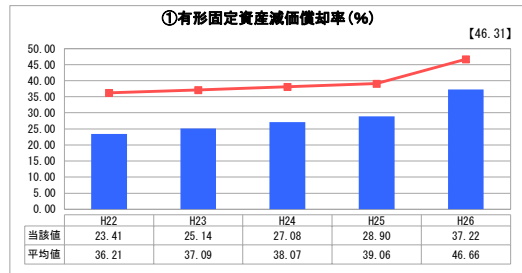


「施設の効率性」

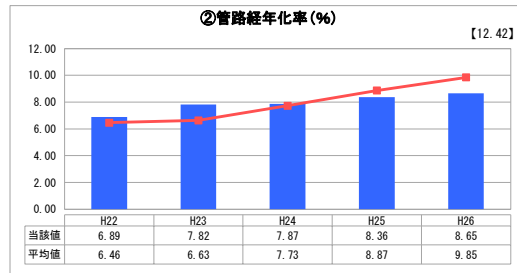


「供給した配水量の効率性」

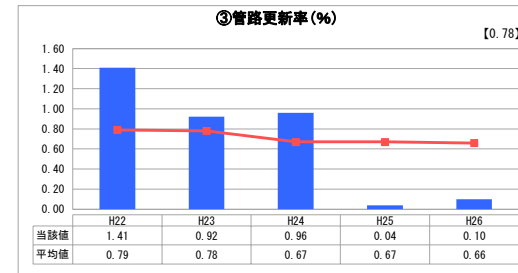
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度に料金改定を行うことにより、経常収支比率及び累積欠損比率は改善されます。
また、料金改定で給水収益が上がることで、供給単価が上がりますが、類似団体より改善されます。
企業債残高対給水収益比率については、平成19年から23年に大規模事業が完了し、今後は借入れが少なくなるので、企業債残高は減少していきます。
経営の健全性については、料金改定を平均13%行い収益を向上させることにより経営の健全化を図ります。
給水原価については、類似団体より低い状況にありますが、施設整備により減価償却費が増えることから給水原価が上がることを予想されます。
施設利用率については、類似団体と比較して高い数値でありますので適正な規模です。
経営の効率性については、有収率が示しているように漏水箇所を修繕し、有収率を上げることが緊急の課題でありますので、計画的に更新し効率性を高める必要があります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、平成19年から23年に行った大規模事業による新しい施設の建設で類似団体より低い状況にあります。
管路経年化率については、類似団体より低い状況ですが、上昇傾向にあるので計画的更新が必要であります。
管路更新率については、計画的更新により改善されると予想されます。
老朽化により漏水が多くなっているため、漏水箇所及び老朽管を調査し計画的に更新していく必要があります。

全体総括

平成15年及び17年の断水事故を教訓に、平成19年から23年にかけて災害に強い施設整備を目標に水源整備等を行いました。水源整備により企業債の借入れが増え企業債償還金等の支出が増加し、26年度決算では欠損金が生じました。
平成28年度に料金改定を行うことにより給水収益が増加し、経常収支比率及び累積欠損比率等の改善を行います。
今後は、管路の老朽化による漏水箇所の更新を計画的に行い有収率の向上を目指します。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。